



1/今回発見された鳥脚類（イグアノドン類）の歯化石（画像提供・久慈琥珀博物館） 2/前列左から、鳥脚類歯化石を発見した久慈琥珀株式会社石賀大登さん、平山教授、福井県立大学大学院生物資源学研究所真貝人和さん、坂根広太さん、角竜類歯化石を発見した橋本亮平さん 3/角竜類について説明する坂根さん 4・5/鳥脚類（イグアノドン類）（左）、角竜類（右）の復元画（小田隆作、画像提供・久慈琥珀博物館）

## 東日本初・岩手初の 恐竜化石を発見

**久慈琥珀博物館と早稲田大学、福井県立大学などのチーム**

は、トリケラトプスに代表される草食恐竜「角竜類」と「鳥脚類（イグアノドン類）」の歯の化石が、同博物館周辺の白亜紀後期（約9千万年前）の地層から発見されたことを発表しました。角竜類の化石の発見は国内4例目で東日本では初。鳥脚類の化石の発見は岩手県内で初めてです。同化石が見つかったのは久慈層群玉川層で、これまでに竜脚類や獣脚類をはじめ、多数の化石が発見されており、久慈には少なくとも8種類の恐竜が生息していたことが分かっています。

3月30日、チームは同博物館で記者会見を開催。2012年から当市で発掘調査を続けている早稲田大学国際学術院の平山廉教授は「発見された2種類の恐竜を含む鳥盤類恐竜の多様化が進行していた時代にあたります。今後の研究で、新種の発見が期待できます」と今回の発見の意義を説明しました。発見された化石は、8月30日まで同博物館で展示されています。

## 久慈百景

あなたの写真や動画で  
久慈をPRしませんか？

Instagramで久慈の風景や魅力を撮影した写真や動画に、ハッシュタグ「#久慈百景」をつけて投稿するだけ！

皆さんの素敵な写真や動画で、一緒に久慈を全国、そして世界にPRしませんか。



広報は、次号から毎月15日の1回発行となります。バックナンバーは市HPから閲覧可能です。

